

# ペムトレキセド+ベバシズマブ療法の治療をお受けになる方へ

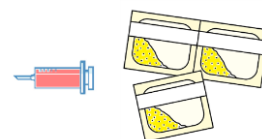
★治療スケジュール 症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。

お薬の名前	1日目	2～21日目
ベバシズマブ (ベバシズマブ)	 30分	お休み
吐き気止め	 15分	
ペムトレキセド (ペムトレキセド)	 10分	

【副作用軽減のために使用するお薬】

ビタミンB<sub>12</sub>（フレスミンS注）：初回投与7日前に投与をします。

葉酸（パンビタン）：初回投与7日以上前より服用を開始します。



★起こりやすい副作用 これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

## 〈血液検査からわかる副作用〉



### 白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、治療開始後10～14日頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！ 白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。

### 赤血球減少(貧血)

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。

### 血小板減少

血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などが起こりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。

### 腎機能障害

抗がん剤の影響で腎臓がうまく働かなくなることがあります。腎臓の働きが悪くなると、お薬が体内から抜けにくくなり、副作用が強くなる場合があります。

⇒500mLのペットボトル、2本ぐらいを目安に水分をとりましょう。

## 〈ご自身でわかる副作用〉

### 悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。治療時期に合った吐き気止めを使います。ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。

⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

### 脱毛

抗がん剤の種類や患者さん個人によって違いはありますが、治療開始2～3週間後から抜け始めます。髪以外の部分（まゆ毛、ひげ、体毛など）でも同様におこります。治療が終了すれば、少しずつですが生えてきます。

⇒脱毛が気になる場合は、医療用かつらやウィッグ、帽子などをお勧めします。

### 便秘・下痢

1日3回以上の排便、もしくは明らかな排便回数の増加がみられた場合は、下痢止めを服用して下さい。下痢止めを2回服用しても、よくなる場合は、病院への連絡が必要です。

### 皮疹

皮膚が赤くなったり、かゆみをともなうことがあります。症状が強く出た場合は、ぬり薬や飲み薬を使うことがあります。

### 出血

鼻や歯肉、膣などの粘膜から出血することがあります。10分たっても血が止まらない場合は病院へ連絡して下さい。

### 高血圧

血圧が上がるがあります。血圧が高いと頭痛をともなうことがあるので、場合によっては、血圧を下げる薬を使うことがあります。

⇒血圧は、毎日決まった時間に測定し、記録をつけていきましょう。

### ★すぐに連絡をいただきたい副作用

- ★「ふるえ」、「悪寒」、「38℃以上の発熱」、「肌のほてり」、「紅潮」（敗血症）
- ★「皮膚のかゆみ」、「じんま疹」、「声のかすれ」、「くしゃみ」、「のどのかゆみ」、「息苦しさ」、「心臓がドキドキする」、「意識がもうろうとする」、「熱っぽい」、「急に寒気がする」、「ふらつく」（過敏症）

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡ください。

国立病院機構 東京病院 042-491-2111(代表)